

令和4年度「地域医療構想の推進に関する意向調査」 結果について

説 明 要 旨

- 「地域医療構想の推進に関する意向調査」（以下、「意向調査」という）については、各医療機関の対応方針の確認・取りまとめのため、毎年実施しているもの。
- 今年度については、厚生労働省より、「地域医療構想調整会議における検討状況等の確認について」という別調査が実施されることとなったため、両調査を一体的に実施することとなった。
- 令和3年度「病床機能報告」の報告方法等の変更及び厚生労働省調査との一体化に伴い、「意向調査」の項目の一部が変更となっているため、今回の結果概要の項目等について一部変更している。

【主な変更箇所】

項目	変更前	変更後
2	「病床機能報告制度」について	病床機能の報告内容
2(1)	平成28年度以降の報告内容	現状の機能
2(1)	H28、R2、R3(予定)	平成29年7月1日時点 令和4年7月1日時点
2(2)	稼働病床数 ※	最大使用病床数 ※
	非稼働病床数	許可病床数と最大使用病床数の差
2(4)-1	R3 病床機能報告(予定)数	令和7年7月1日時点の機能別病床数(病床機能報告予定)

※ 令和3年度の「病床機能報告」から、報告対象期間が1年間分となったことに伴い、「稼働病床数」に替えて、「最大使用病床数」（1年間で最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数）を報告することになっている。

- 今回の未回答医療機関は休止中の1医療機関含め、9医療機関。
結果概要に未報告医療機関の病床数等が計上されないことで、圏域全体の病床数が減少したように見えてしまうことから、未報告医療機関分の病床数を枠外に記載した。

- 2「病床機能の報告内容」の(5)「非稼働病床」を有する医療機関のその理由と今後の見通し」について、今年度の調査様式では「事由記載」となっていたため、記載がない医療機関分は空欄となっている。